

今後の検討の方向性について（案）

昨年開催した第1回から第4回の本検討会において、複数の有識者から「明るい廃業」や「金融面での支援の必要性」について指摘があったことに加え、官房長官を議長とした「観光戦略実行推進会議」においても、宿泊施設への投資の停滞により施設が老朽化し、サービス改善もなされず、客単価が低い水準にとどまるという「負のスパイラル」の解消の必要性について議論があったところ。

こうしたことから、以下の観点についてより深い議論を行っていただき、本検討会の報告書に盛り込んではどうか。

- 旅館の新陳代謝の促進（＝新規参入及び「明るい廃業」の促進）に向け、どのような方策が有効か、その方策の実行のためには何がボトルネックになっているのか、そのボトルネック解消のために公的主体及び民間は何を行うべきか

- 単独の旅館ではなく地域の複数の旅館が連携し、面的に生産性向上を図るためには、どのような方策が有効か、その方策の実行のためには何がボトルネックになっているのか、そのボトルネック解消のために公的主体及び民間は何を行うべきか

- 貸し手側（銀行側）から宿泊施設への融資を促進させるためには、どのような方策が有効か、その方策の実行のためには何がボトルネックになっているのか、そのボトルネック解消のために公的主体及び民間は何を行うべきか